

「バンドウミライ楽考」卒業式

がっこう

10月27日、市役所多目的ホールで「バンドウミライ楽考」の卒業式が開催されました。茨城王（イバラキング）／イバラッパーとして活躍されている青木智也さんを迎えての卒業基調講演もあり、茨城弁の講演に会場は笑いの渦に包まれました。

基礎課程の「楽生」17人は、坂東市協働のまちづくり担い手育成事業推進委員会が企画・運営する講座で、ふるさとガイドの会やガールスカウトのみなさんの協力を得て、郷土史や防災、福祉など坂東市のさまざまな知識を得ることができました。

また、2年生となる専門課程の「楽生」10人は、自ら講座を企画・運営し、平将門公やごみ処理について勉強しました。

坂東市民として誇りと愛情をより一層深めていただいた卒業生のみなさんは、「協働のまちづくり」の担い手の一員です。一緒によりよい坂東市をつくっていきましょう。

協働のまちづくり活動をはじめの第一歩として、みなさんもミライ楽考で学んでみませんか？

お問合せ 市民協働課

02067(21)2183



いざという時の備えを学ぶ



車いす体験



名産品を味わう



郷土史を学ぶ

特定外来生物 アライグマなどの被害対策 意見交換会

10月28日、市と農研機構中央農業研究センター共催による「アライグマなどの被害対策意見交換会」が市役所で開催されました。

近隣自治体の鳥獣対策担当者など約20人が参加。市内の住民宅を回り、箱わなに掛かったアライグマを回収するまでの一連の流れを見学後、情報交換を行いました。

市では、アライグマによる農作物などへの被害が年々増加しており、アライグマを捕獲するため、箱わなを市民に貸し出し、捕獲の通報があった住民宅を訪れ箱わなを回収し、アライグマを駆除しています。今後も、捕獲活動の継続と強化を図るとともに、市民のみなさんには、エサとなる誘引物の適切な管理をお願いし、駆除と防除の両面で、アライグマなどを寄せつけない環境にすることを目標に進めていきます。

